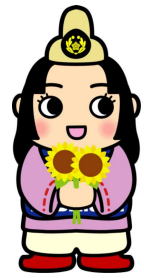


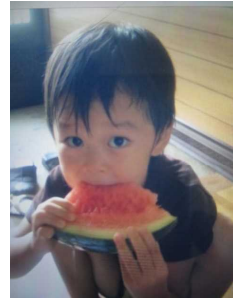


# ひまわりの絆プロジェクト経緯



平成23年11月、京都府南部に住んでいた東陽大(あずまはると)君(当時4歳)が交通事故で亡くなりました。

生前、陽大君は幼稚園で育てていたひまわりの種を自宅に持ち帰っていました。ご両親は、陽大君が生きていた証としてそのひまわりを大切に育てていました。



陽大君(当時4歳)

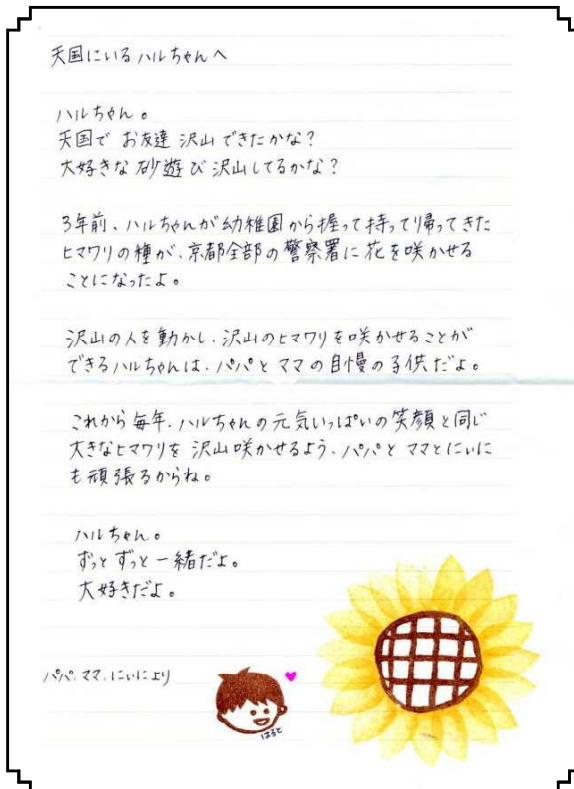
平成25年春、この交通事故を担当していた警察官が自宅を訪問したとき、ご両親から、

陽大が生きた証を残したい。このひまわりがあちらこちらで咲けば、陽大も色んな所へ行けると思う。もう交通事故は嫌です。とそのひまわりの種を託されたのです。

こうして、陽大君が生きていた証を残したいと願うご両親の思いと交通事故根絶の強い願いが「ひまわりの種」となって引き継がれ、平成27年には京都府内の警察署、幼稚園、保育園、小中高校、指定自動車教習所、各地域等で、平成28年以降は京都府内だけでなく全国各地で大輪の花を咲かせました。

今年も多くの方々と、ひまわりを育てることを通じて、命の大切さと交通事故防止を伝える取組が行われています。

## ご遺族からのお手紙



## 警察署前で咲いたひまわり



## 全国で咲いたひまわり

